

プロネクサスベトナム現地レポート

(2020年11月 VOL.10)

プロネクサスベトナムが、ベトナム現地情報をお伝えいたします。

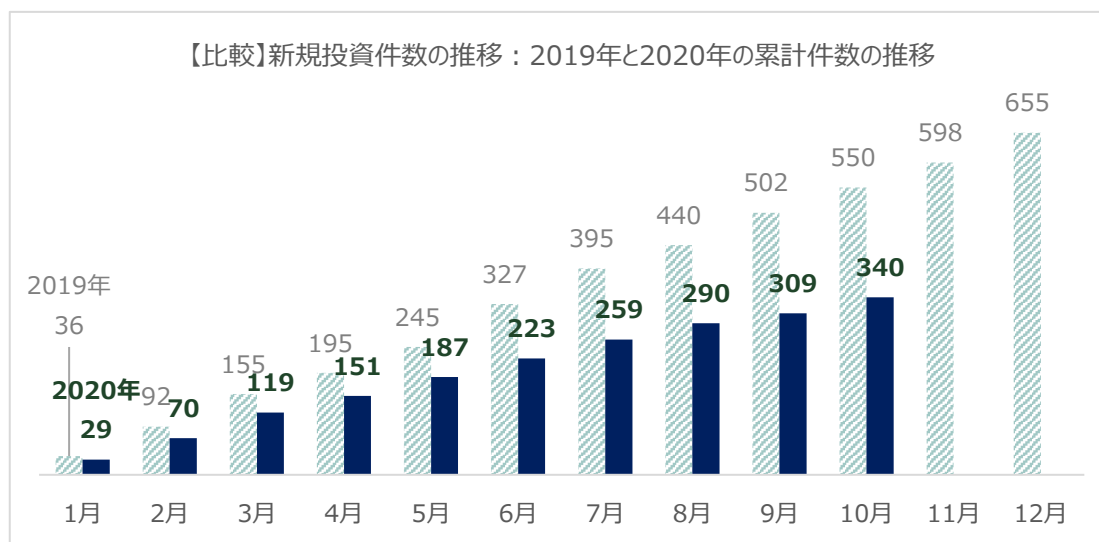
今回のテーマは、ベトナムへの海外からの直接投資（Foreign Direct Investment 以下、FDI）の動向についてです。全世界で流行中の新型コロナウイルスの影響で、日本のベトナムへの FDI 投資件数ならびに投資額は前年の同時期と比較して減少傾向がつづいております。

【FDI 動向の概要：2020年（1月～10月）】*9月の数値は、20日時点の速報値

【1】日本の対越投資動向

- 日本の2020年1月から10月までの FDI 投資額は約 17 億 8,255 万 US ドル（*2019年同期間：約 31 億 8,664 万 US ドル、55.9%）
- 日本の2020年1月から10月までの FDI 投資件数は、813 件（*2019年同期間：1,195 件、68.0%）
- 証券投資件数を除いた日本の2020年1月から10月までの FDI 投資件数は、340 件。（*2019年同期間：550 件、61.8%） *下グラフ参照

*証券投資を除く FDI 投資件数の統計データは、会社設立や増資等の日系企業の直接的な進出動向の判断指標の一つとなる数値です。



*データ引用元：ベトナム外国投資庁

【2】世界の対越投資動向

2020年10月現在、海外からのベトナムへの直接投資は、109の国と地域から投資が行われており、投資金額・投資件数の上位5か国は以下のとおりです。

■投資金額の上位5か国（金額：USドル）

1位	シンガポール	約75億
2位	韓国	約34億
3位	中国	約21億
4位	日本	約17億
5位	タイ	約17億

■当件数の上位5か国（件数）

1位	韓国	2,438
2位	中国	1,163
3位	日本	813
4位	シンガポール	698
5位	台湾	561

*データ引用元：ベトナム外国投資庁

*「新規投資の金額・件数」「追加投資の金額・件数」「証券投資の金額と件数」の合計で順位を算出（2020年1月～10月）

<主な大型プロジェクト>

- ▶ 液化天然ガス（LNG）の発電所プロジェクトの約40億USドル（シンガポール）2020/1
- ▶ ロンソン石油化学コンビナート建設プロジェクトで約13億USドル（タイ）2020/4
- ▶ ベトナム・ハノイ市の不動産開発事業「スターレイク・プロジェクト」に関する追加投資で、約7.7億USドル（韓国）2020/6
- ▶ タイヤメーカーJINYU TIRE（ジンユータイヤ）のタイニン省フックドン工業団地の工場建設プロジェクトで約3億USドル（中国）2020/1
- ▶ 上記の大型プロジェクトなどがFDI投資金額全体を下支えしており、全世界からのベトナムへの投資金額は、対前年同時期と比較して80.6%で推移。

*引用元：ベトナム外国投資庁

<貿易収支>

コロナウイルスの影響は、世界各国の経済情勢に大きな影響を与えています。しかしながら、ベトナムでのコロナウイルスの影響は一服感があることから、2020年10月までの貿易収支は、過去最高の187億米ドルの貿易黒字になると予想されております。

コンピューター、電子製品などが牽引し、輸出売上高は前年同期比4.7%増と堅調に推移していることが伺えます。

以上、プロネクサスベトナムが海外からの投資動向について、お知らせ致しました。

【Disclaimer】

- 本資料は、情報提供を目的として作成しております。
- 本資料に記載の情報は、会計・税務・法律上の観点からのアドバイスを含むものではありません。
- インターネット上を含む、一切の無断転載を禁止しております。
- 本資料の情報は、株式会社プロネクサスが作成元より提供を受けており、著作権は、原則として作成元に帰属します。いかなる目的でも、本資料の一部または全部を無断で使用すること、または、いかなる方法で複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与などを行うことを禁止しております。
- 本資料に記載された情報は、作成元が信頼できると判断したものを根拠として作成を行っておりますが、その内容の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。弊社および作成元は、当該情報に起因して発生した損害について、その内容の如何に関わらず、一切の責任を負いません。